

令和2年度 第3回霧島市子ども・子育て会議（会議要旨）

開催日時	令和3年2月6日（土）14:00～15:30		
開催場所	国分シビックセンター 複合施設棟 3階 国分公民館 大会議室		
出席者	委員	松崎 優、山口 義幸、若松 忠洋、立藏 順子、田間 美沙緒、谷口 昌枝、坂元 京子、若松 洋子、西川 純子、鈴木 誠、迫 恵理子、戸越 あかね	
	事務局	西田 保健福祉部長、砂田 保健福祉部参事兼子育て支援課長、出口 子育て支援課子ども・子育てG長、松下 同課同グループサブリーダー、野村 同課保育・幼稚園グループ長、竹内 同課同グループサブリーダー	
欠席者	磯野 直子		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p><b>会次第</b></p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 協議等</p> <p>（1）教育・保育施設の定員設定について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1、2】</p> <p>（2）教育・保育施設の定員変更について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1、2】</p> <p>（3）その他</p> <p>3. 閉 会</p>			
<p><b>【会議要旨】</b></p> <p>1 開会</p> <p>2 協議等</p> <p>（1）教育・保育施設の定員設定について</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・資料1の番号1及び2の施設について、事務局が、説明を行い、各施設ともに承認される。</p>			
<p><b>主な意見等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）みらい保育園は、令和3年10月開所予定とのことだが、現在、認可施設及び認可外施設を利用している乳幼児が利用できるのか、また、小規模保育事業所A型の施設とのことだが、連携施設ではない認可施設を3歳以降に利用できるのか。</li> <li>→ 開所時期が決まった時点で、新規募集を行う。現在、認可施設を利用している乳幼児は転所申請となり、認可外施設を利用している児童は新規申請扱いとなる。また、原則として連携施設に入所することとなるが、連携施設ではない認可施設の申込申請も受け付けている。</li> <li>・ 施設整備について、新たに整備されるとのことだが、保育士や場所の確保等、心配な気もするが、しっかりとした運営ができるのか。</li> <li>→ 施設の場所は、霧島市国分野口西地区で、施設は法人で整備され、また、これまでも幼稚園やこども園を運営してきており、人材確保においても大丈夫との回答をいた</li> </ul>			

だいている。

- ・ 企業主導型保育園など無認可保育施設もあちこちできており、今後の人口減少となると提供されるサービスの質のチェックが必要と考えられる。(意見)

## (2) 教育・保育施設の定員変更について

・ 資料1の番号3～8の施設について、事務局が一括して説明し、各施設の変更について意見を伺う。

### 主な意見等

- ・ 資料の備考欄に、3ヵ年平均在園児数を掲載し、基準としているが、1号の減少の場合は、内容である。1号認定児童の場合は、目安の様なものはないのか。  
→ 現在の利用ニーズとして、1号より2号のニーズが高く、1号を減らしている状況である。幼保連携型認定こども園としては、15名の利用定員が最小となっている。
- ・ 入所が少ないため、2号や3号の利用定員を減少するということが、潜在的待機児童が多い国分・隼人地区の施設で、そのようなことがあるのか。また、市はどのような園の運営を指導すべきではないのか。  
→ 国分・隼人地区においても、地理的な条件により希望者が少ない施設はあります。また、利便性の高い地域であっても、施設の方針などにより、希望者が少なくなる傾向にある施設もあります。
- ・ 場所も施設も問題はないと感じる施設で、また、利用定員を少なくするというのは、運営者の問題があるのではないかと。他市で園長のパワハラで保育士が一斉退職し、園児や保護者が大変困ったということがあった。そこまではないとしても、危惧される。(意見)
- ・ 周辺地域にある園を利用する際に、園児用送迎バスを運営することや、補助金制度を検討できないか。  
→ 送迎バスについては、既にいくつかの園が独自に導入している。また、運転手雇用についての助成制度(処遇改善)がある。

## (3) その他

- ・ 保育教諭の人材確保に大変苦慮している。また、1号と2号の定員変更について、弾力的な運用制度の必要性を感じている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言があるなかでも、保育教諭等は現場で頑張ってくれているが、今回の公定価格は実質下がっており、非常に残念である。制度として理解できるが、配慮があってもいいのではないかと感じた。
- ・ 発達障がい児の受け入れについて、一律ではない制度が必要ではないかと感じる。保育教諭の対応も難しい事例もあり、制度の充実が望まれる。
- ・ 企業主導型保育事業所や児童クラブの新設が、多いと感じている。利用できていな

い子どもが少なくなることは、良いことなのだが、施設運営の基準はどうなっているのか。

→ 企業主導型保育事業所については、内閣府所管の団体が設置運営補助金を支出しているので把握していないが、児童クラブについては、届出制度となっている。現在、市の補助金の対象とするにあたり基準を設けることを検討している。

- ・ 今後も女性の活躍を支えていただきたい。結婚、妊娠、出産、子育てにおける職場の支援体制は、必要である。

## 5. 閉会